別海町立上風連小学校　学校だより

上 風 連 の 子

No.8　平成25年10月28日（月）　発行責任者 校 長 菊 地 祐 一

学校ブログのアドレス　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ａｕｒｅｎｓ．ｏｒ．ｊｐ／ｋｉｄｓ／

「みんなが輝く、最高の一日に！！」になりました！

上風連小学校長　　菊　地　祐　一

台風２６号の影響で臨休となり、児童公開日が一日延期となった今年の学芸会。練習スケジュールにも若干の影響が出てしまいましたが、子供たちはどんな逆境もチャンスに変えてしまう底力を持っているようです。１０月１９日の保護者公開では見事なパフォーマンスを繰り広げてくれました。今年の学芸会のスローガン「みんなが輝く、最高の一日に！！」。これを合い言葉に、どの学年も自分たちのステージで最高に輝いている姿を見せていました。

学芸会と言えば、「主役は誰？　大型楽器は？　舞台の中央で踊るのは？」・・・・特に人数の多い学校では、こういったことが話題になりがちです。しかし、我が上風連小学校ではそんなことは問題なく、充分過ぎるほどの台詞や器楽演奏そして舞台狭しと踊ることができます。それだけに、一人にかかる負担はかなりのもの。覚えるのも想像以上に大変です。でも、子供たちは必死に頑張りました。自分だけではなく、友達と協力し、助け合い、励まし合いながら、元気よく踊り、笑顔で歌い、思いっきり演奏し、最高の演技を披露しました。そして、子供たちの頑張りを更に深めるのが演出です。これは教師の役目です。子供たちの活躍とそれを支えた教師とのコラボレーションはどんなハーモニーを奏でたでしょうか。きっと、子供と教師が同じ目標に向かって努力してきた姿を見ることができたと思います。

学芸会は舞台に立つことだけが全てではありません。照明や放送、舞台や大道具係等、裏方の働きがあってこそ成立するものです。今年の学芸会は舞台以外の活動がとても輝いていました。全校合唱の後の６年生による「終わりの言葉」。最後に全校児童で「ありがとうございました」と締めくくったあの言葉には、見えないところの私たちの活躍も見ていただき「ありがとうございました！」というメッセージが込められていたのです。「相手を思いやる優しい心」「困っている友達を助けるために差し出された温かい手」「誰も見ていなくてもいっしょうけんめい働く姿や行い」等、これからも子供たちの目に見えない行動に注目して下さい。